

平成29年 第9回 飯舘村議会定例会



平成29年9月議会定例会は、8月28日から9月8日までの日程で開かれました。一般質問は30日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は8日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

今議会で可決された議案等

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 平成29年度一般会計補正予算(第5号)
既定予算総額に、7億5292万円を増額し、歳入歳出予算の総額を225億2778万円としました。
歳出の主な内容は農林水産業費の農業費に1億9256万円、商工費に4億3043万円などを計上しました。歳入では、地方交付税、国、県支出金、寄付金、繰入金などを充てています。
- 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

- 平成28年度飯舘村一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成28年度飯舘村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成28年度飯舘村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成28年度飯舘村農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成28年度飯舘村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

飯舘村告示条例の一部を改正する条例

- 東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 飯舘村役場飯野支所設置条例を廃止する条例
- 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(13区トマト栽培用耐候性ハウス) 請負契約について
- 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(7区内用牛用施設) 請負契約について
- 人権擁護委員の候補者の推薦について

村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

現状と課題に向けた取り組み

帰還困難区域を除き避難指示が解除されてから、5か月が経過しました。徐々にではありますが、帰村する村民が増えてきており、8月20日現在の帰還状況は、188世帯、400人となっています。帰還率は7%程度ですが、村内で生業農業として、畜産・花卉・野菜などの営農再開をされた方、また生きがい農業支援による営農活動を始めた方、事業所等の再開に向けた動き、さらには宿泊体験館「きこり」の宿泊再開など、村内の活気も少しずつ取り戻しつつあります。

帰村に際し課題の一つでありました「在宅介護サービス」については、川俣町及び伊達市の介護事業所と協議が整い、村内でホームヘルプサービスが実施されています。

「道の駅までい館」

村の復興拠点施設として整備してきました道の駅「いいたて村の道の駅までい館」の竣工式を、8月11日に当館において挙行しました。今後の運営にあたっては、「までの精神」を基本とし、村の情報の発信基地と交流の拠点施設としての役割をしっかりと果たしていくことと併せて施設の安定した健全経営に向け、職員一同さらに研さんに努め、来場者に愛され、親しまれる施設を目指し取り組んでいきます。

草野小、飯樋小、白石小の統合時期

学校再開時期である平成30年4月から1年間については、今までどおり3つの小学校を維持し、平成31年4月からは1校に統合します。
なお、学校の名称については、今後教育委員会など関係機関で検討し決定します。また、制服については、現在著名なデザイナーに依頼しており、子どもたちの意見なども参考にしながら、決定したいと考えています。

サポートセンターの開所

帰村された方の憩いの場、交流機会の確保等を目的に準備を進めてまいりましたサポートセンターですが、9月1日から村社会福祉協議会の運営により、いたてクリニックで開始することになりました。多くの方々にご利用いただけるよう事業の創意工夫に努めるほか、周知を図っていきます。

村内産農産物出荷再開について

3月に和牛繁殖農家が家畜市場に仔牛1頭を出荷したのを皮切りに、7月に深谷地区のサヤインゲン、松塚地区のカスミソウが、それぞれ出荷を再開しています。
野菜については、県の緊急時モニタリング検査を受けての出荷再開で、現在、ブルーベリー、ナス、馬鈴薯についても、順次検査を受けています。

今後、トルコギキョウ、アルストロメリア等の花卉類と並行して、食用農産物の販売再開も進んでいくものと期待しているところです。

学校再開に向けた取り組み

学校再開に向けた建設工事は、概ね順調に推移しております。平成30年4月の学校再開に支障が生じないよう現場管理に努めます。

次に、平成30年の学校再開に向けた第1回就学意向調査を行っています。今回の調査は、本来であれば村の学校に通うであろう中学2年生以下の児童生徒736名全員を対象に、記名での回答を求める方式で実施しました。今後は、早期に保護者説明会を開催したいと考えており、一人でも多くの児童生徒に村の学校に通っていただけるよう努めます。

子どもたちの研修事業

7月21日から24日に、沖縄までの旅を実施し、小学6年生26人が、命や自然環境の大切さを学びました。
次に、7月26日から8月4日に、未来への翼カナダ研修を実施し、中学生15人が、カナダで農業体験、ホームステイ等を体験してきました。